

2023年度助成の選考について

2023年度は日本臨床スポーツ医学会に加えて、新たに日本アスレティックトレーニング学会、日本スポーツ整形外科学会の3学会からそれぞれ3題の研究を助成対象として申請いただきましたが、それ以外の一般からも11題の応募をいただきました。また、セミナー・シンポジウム・研究会助成の申請も1題受けました。

審査の結果、今回は研究助成7題の研究と、1題のセミナー・シンポジウム・研究会に対し助成を行うことが適正であると判断いたしました。

審査は、研究やセミナー等の内容に基づいて、事前に選考委員各自で1から5までの絶対評価（5が最高点、1が最低点）をつけ、選考会議当日は各委員のつけた評価をもとに審議し、最終的な助成研究を決定いたしました。

今年度も上限100万円の助成金額については、必要経費見積金額の中から必要性が十分と認められないものや説明が不十分な項目については削減して助成することといたしました。決定の際に研究費の内訳について内容の説明や必要性が十分であるかどうかを重要な基準といたしました。

また、研究そのものは有意義と判断されるものの、予算の見積が英文投稿費、英文校正費、国内学会旅費、海外学会旅費の割合が大半を占める申請者も見受けられます。本来研究推進の目的で助成金は使用すべきとの考えから本年度はこれらの合計を30万までは認めることとしたが、来年度より合計が20万円までと基準を変更することといたしました。

来年度以降も、研究助成の申請にあたり申請書類の内容がより具体的で、客観性に富んだ記載になることを期待いたします。

公益財団法人 日本スポーツ医学財団 選考委員会